

## 救急活動の逼迫による消防隊との連携活動について

社会構造の変化と新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、救急件数は増加し救急現場では、搬送病院がすぐに決まらず（新型コロナウイルス陽性者は保健所が病院を選定）、現場滞在時間の遅延等で救急活動は困難極まりない状況となる場合があります。

当消防組合では救急隊 7 隊と故障・点検などで使用する非常用救急車 1 台の計 8 台で救急業務を行っていますが、その非常用救急車を含む全ての救急車がフル稼働し、救急隊全隊が出場している状態が日に何度も続くことが少なくありません。

救急隊が全隊出場している中で、さらに救急要請（119番通報）があると、出動が可能となる救急車が向かうまでお待ちいただくこととなりますが、市民の皆様安心していただけるよう、また、重症患者等を見逃さないために、救急隊員の資格をもつ消防職員が消防車で救急現場へ向かい、次の救急隊が到着するまでの間、観察や応急処置を行っております。

また、救急車が現場から離れず、なかなか出発しないと感じることもあるかと思いますが、これは救急隊員が車内で傷病者を観察し応急処置を実施したり、搬送先医療機関に電話連絡し患者様の受け入れ先を探しているためであり、受け入れ先医療機関が見つからず連絡先は数十件に及ぶ時もありますが、我々消防は市民の皆様をお守りすることに全力を注いでおりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



救急隊と消防隊が同時出動し、活動する状況。



救急隊が全体出動中等で消防隊が出動し、活動する状況。



## 後着の救急隊

救急隊が全体出動中等で消防隊が出動し活動中に、救急隊が出動可能となり、到着した状況。



救急隊が全体出動中等で消防隊が出動し活動中に、救急隊が出動可能となり到着し、先着の消防隊と連携して活動している状況。



救急隊と消防隊が連携して活動している状況。